

日本共産党

高槻市議員

宮本 雄一郎



発行：日本共産党高槻市議員団 宮本雄一郎
連絡先：議員団控室電話 072-674-7230
事務所：高槻市氷室町1丁目25-6 TEL 072-692-2758
自宅：高槻市氷室町2丁目14-2 TEL 072-695-1900



国民健康保険料(医療分)

	均等割額(人数割)	平等割額(世帯割)	所得割率
高槻市	7,248円	50,123円	7.04%
吹田市	13,216円	52,039円	8.40%
島本町	28,320円	30,600円	8.88%
府の試算	34,970円	24,976円	8.79%

減免制度の実施数と加入世帯の減免率

高槻市	26,540 ^{世帯}	50%
大阪市	50,075 ^{世帯}	10%
堺市	8,667 ^{世帯}	6.5%
島本町	45 ^{世帯}	1%

※保険料には他に後期分と介護分があります。

大阪府は市町村独自の国保料、減免制度を認めるべき

来年4月から国民健康保険(国保)の運営が、市町村から都道府県に移行します(「国保の広域化」)。国は移行後も保険料の算定方式や減免制度は、市町

村独自に決めてよいとされています。しかし、大阪府は府が決めたものしか認めない「府内統一保険料」「統一減免」の方針を示しています。

また、保険料が高

くならないように、市町村が行なっている一般会計から国保会計への繰り入れ金の解消を迫り、方針に従わない市町村は補助金を削減される可能性があります。しかし、国は一般

会計からの繰り入れ金の解消を市町村に強制していません。市町村独自の保険料算定や減免制度を認めるよう強く大阪府に求めていく必要があります。

ほとんどの世帯で保険料が値上げに

大阪府は2月、「府内統一保険料」の試算を発表しました。

上の表で、府の試算と2016年度の高槻市と近隣市町村の保険料を比べてみました。

高槻市は、収入の少ない世帯や人数の多い世帯の保険料を安くしています。高槻市の医療分の基本料金(均等

割、平等割)の合計は5万7371円。府の試算より2575円安くなっています。そのため、「府内統一保険料」になれば、収入が少ない層でも値上げになります。所得にかか

る保険料率(所得割率)も高槻市は、府の試算より1・75%高く、統一されれば値上げになります。また、高槻市は低所得者に対する減免が3種類あります。大阪府は市町村独自の減免制度は認めないため、その分も値上げになって



国保広域化問題で大阪府との交渉に参加

8月9日、国保の広域化問題で府下の日本共産党市町村会議員と府との交渉が行われ、高槻市議団からは私が参加しました。

交渉では「高槻市は市議会や国保運営協議会の議論を経て、独自に低所得者の保険料を減免している。また、子どもが多い世帯の負担が少なくなるように保険料を算定してい

る。保険料と減免制度の統一はこれら市議会と協議会の議論を否定するもの」「こんなことをしている都道府県は数県で、特に減免制度まで統一しようとしているところはない」と府を批判しました。

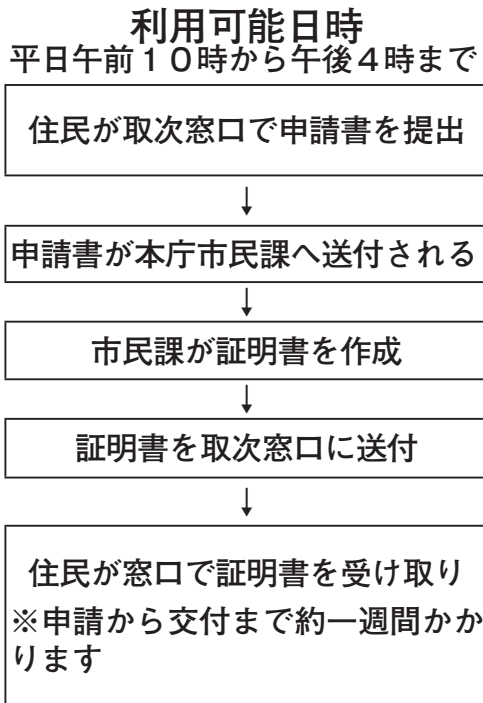
また、大阪府は市町村の意見をほとんど聞かず、府下41市町村のうち9市町村しか参加できない「広域化調整

会議」で方針を決めています。これに対し「北摂市長会はすべての市町村から広く意見を聞いて議論を進めることを求めている。全市町村の納得が得られなくてもこのままの方針で突っ走るのか」と質しました。これに対し府は「調整会議のメンバーは各地域ブロックの代表として出席している」と回答。しかし、各ブロックで代表として決めた事実はなく、会場は騒然となりました。他市の議員からも「地域ごとに物価の格差、医療機関の数など差がある。だからこそ市町村ごとに運営をしてきた」「大阪府の都合だけで考えている。府民にとって良いことは全くない」など批判が続出しました。

行政サービスコーナー廃止後のサービス示される

市は、マイナンバーカードを使ってコンビニで住民票などの証明書が発行できるようになったことを理由に、9月いっぱいまで行政サービスコーナーを廃止します。サービスコーナーの廃止に対し、住民、自治会、地域コミュニティ組織などから「サービスコーナーは近くて便利だった」「必要な書類などについて対面で相談できないことが不安」など反対、懸念の要望書が市に出されていました。それらの声に押され、新たなサービスが示されました。実施は原則一年限りです。市民の要望に照らすと大幅なサービスの後退になります。

新サービス『住民票等取次窓口』



新サービス実施場所				
服部	図書館	五領	公民館	
今城塚	公民館	磐手	公民館	
阿武山	公民館	南大冠	公民館	

JR高槻、阪急高槻市各駅前、富田サービスコーナーは廃止されます。阪急上牧駅前サービスコーナーは五領公民館に移転します。

視察報告

8月16日、17日、日本共産党市会議員団は会派視察として横浜市、豊橋市を訪問しました。概要を報告します。

横浜市 ごみ減量と発生抑制の取り組み

横浜市は、2012年、どのような物がごみに出されているのか調査を実施。家庭から出される可熱ごみには、リサイクル可能な古紙が10%、プラスチック製容器包装が5%。事業所からは、古紙が20%、同容器包装が14%。生ごみは、家庭から出される可熱ごみの中に35%、事業所からは40%含まれているとの結果でした。

これを受け、横浜市では、「ヨコハマ3R夢プラン」として、市民と事業者が協働し、分別リサイクル・発生抑制に取り組んでいます。

豊橋市 こども発達センターについて

こども発達センターは、子どもの発達について、保護者が気軽に相談ができ、子どもの育ちを支えることを目的としています。

また、発達障害や疑いのある子どもを対象に医師による診察を行なっています。その他にも相談、通園事業などの各種サービスを提供。そのため、保健師、保育士、臨床心理士など、専門スタッフを配置しています。



宮本雄一郎 ～市政相談会～

とき 毎月第3土曜日 午後2時～4時
ところ 氷室町1丁目25-6 ☎072-695-1900

この日以外でもお気軽にご相談ください



高槻市議会ホームページで議案や各会派・議員の賛否がご覧いただけます。

高槻市議会

検索